

第 6 編 環 境

1	清掃・環境衛生	91
2	環境保全	103
3	北見市廃棄物処理総合対策事業	104

1 清掃・環境衛生

(1) ごみ処理人口と世帯（令和2年9月末日現在）

	北見市 計	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
収集人口（人）	115,641	101,845	4,442	3,569	5,785
収集世帯（世帯）	61,732	54,876	1,991	1,665	3,200

(2) 令和2年度ごみ排出量

（単位：t）

	北見市 計	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
燃やすごみ	28,746	25,922	1,130	855	839
生ごみ	278	-	-	-	278
燃やさないごみ	3,226	2,090	58	366	712
粗大ごみ	2,391	2,337	25	5	24
資源ごみ	6,936	5,978	300	308	350
その他ごみ	528	455	0	45	28
有害ごみ	94	83	3	2	6
集団資源回収	101	-	-	-	101
総計	42,300	36,865	1,516	1,581	2,338

(3) 令和2年度一人当たり排出量（令和2年9月末日現在のごみ処理人口により算出）

	北見市 計	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
1日当たり（g）	1,002	992	935	1,214	1,107
1年間当たり（kg）	366	362	341	443	404

(4) ごみの処理方法及び処理施設

	処理方法	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
燃やすごみ 紙おむつ類	焼却	北見市廃棄物処理場			
生ごみ	焼却・堆肥化	燃やすごみに含む			北見市留辺蘂町 花園堆肥センター
燃やさないごみ	破碎・埋立	北見市 廃棄物処理場	北見市常呂町 一般廃棄物 処理センター	北見市外2町 一般廃棄物 最終処分場	
粗大ごみ					
資源ごみ	選別・圧縮 減容・梱包	北見市廃棄物処理場 北見市プラスチック処理センター	北見市常呂町 一般廃棄物 処理センター (北見市常呂町ス tockヤード)	北見市留辺蘂町 リサイクル センター	

(5) 家庭ごみの収集体制

ごみの種類と収集回数	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
燃やすごみ 紙おむつ類	週2回	週2回	週1回	週1回
生ごみ	燃やすごみに含む			週2回
燃やさないごみ	月2回	週1回	週1回 (一部月1回)	月2回
粗大ごみ	申込により随時	月1回事前申込	月1回事前申込	月1回事前申込
資源ごみ	週1回	週1回	週1回	月1回 (プラ・紙製容器 は月2回)
有害ごみ	週2または3回	週1回	週1回	月1回 (ライター・スプ レー缶は週1回)
収集形態	委託	委託	委託	委託

(6) 家庭ごみの排出方法

ごみの種類	指定ごみ袋及び処理券	排出場所
燃 や す ご み	8ℓ、15ℓ、30ℓ、45ℓ	ごみステーション
紙 お む つ 類	透明・半透明袋（無料）	ごみステーション
生 ご み	8ℓ、15ℓ、30ℓ ※留辺蘂自治区のみ	ごみステーション
燃やさないごみ	8ℓ、15ℓ、30ℓ、45ℓ、100円処理券	ごみステーション
粗 大 ご み	300円処理券	事前申込による戸別収集
自 己 搬 入	10kgまでごとに50円	廃棄物処理施設への持ち込み
資 源 ご み	透明・半透明袋、紙類はひもで縛る（無料） ※ただし、自治区によっては紙類を紙袋、ダンボール差込み可。	ごみステーション、繊維・使用済小型家電は拠点回収
有 害 ご み	透明・半透明袋（無料）	ごみステーション

(7) 廃棄物の処理に関する手数料

【北見市廃棄物の減量促進、処理及び清掃に関する条例別表第1（第20条関係）抜粋】

手数料等の種類	処 理 の 区 分		基 礎 単 位 及 び 金 額		
収集運搬手数料	一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥を除く。以下この表において同じ。）（家庭生活に伴って生ずるものに限る。）を収集し、運搬し、及び処分するとき。	燃やすごみ及び燃やさないごみ（留辺蘂自治区については、燃やすごみ、燃やさないごみ及び生ごみ）	規則で定める8リットルの容量のごみ袋	1枚につき	16円
			規則で定める15リットルの容量のごみ袋		30円
			規則で定める30リットルの容量のごみ袋		60円
			規則で定める45リットルの容量のごみ袋（生ごみを除く。）		90円
		上記により難しい場合は、規則で定めるところにより10キログラムまでごとに	100円		
処分手数料	一般廃棄物であって市長が指定する処理場に搬入されたものを処分するとき。	事業活動に伴って生ずるもの及び一般廃棄物処理業者（法第7条の規定により市長の許可を受けたものをいう。）が収集し、及び運搬するもの。	10キログラムまでごとに	100円	
		家庭生活に伴って生ずるもの（資源ごみ、有害ごみを除く。）	10キログラムまでごとに	50円	
犬、ねこ等動物の死体処理手数料	犬、ねこ等動物の死体を収集し、運搬し、及び処分するとき。		1体につき	1,000円	
産業廃棄物処分費用	市長が指定する処理場に搬入された産業廃棄物を処分するとき。		100キログラムまでごとに	3,600円	

備考…… 手数料の算出に当たって、処理した量が基礎単位未満であるとき、又はその量に基礎単位未満の端数があるときは、これを基礎単位の量とみなして計算する。

備考…… 令和3年7月1日条例改正

(8) 北見市廃棄物処理場(クリーンライフセンター)

ア 処理場の概要

近年、経済社会の発展に伴い、消費生活の多様化や生活水準の向上による排出されるごみの量の増大により廃棄物行政にも新たな対応が求められています。

北見市では、市民から排出されるごみを衛生的かつ安全に処理するため、現在の廃棄物処理場(愛称:クリーンライフセンター)が平成13年度より稼働しています。

この施設は、1日55トンの処理能力を持つ「流動床式焼却炉」を3炉備え、ごみを24時間連続で焼却するごみ処理施設と、ごみの資源化・再生利用を図るリサイクルプラザ、これらの施設から排出される不燃物を埋立処理する最終処分場、さらには、会議室、環境ライブラリー、展示コーナーなど、市民の廃棄物や環境についての学習の場を提供し、活動を支援する管理棟の4つの施設からなっています。

焼却に伴い発生するダイオキシン類をはじめとする大気汚染物質、最終処分場からの浸出水などによる水質汚濁など、環境汚染防止について最新の技術により対策を講じ、さらに、焼却により発生する熱についても、発電や施設内の給湯、冷暖房に有効利用するなど環境に配慮した施設となっています。

また、平成20年度からは、プラスチック製容器包装の資源化のために、中間処理を行うプラスチック処理センターが稼働しています。

イ 施設の概要

中間処理施設(ごみ処理施設・リサイクルプラザ)

所在地	北見市大和 298 番地 12
建設事業年度	平成 9 年度～平成 12 年度
建設費	5,449,500 千円
施工業者	バブコック日立株式会社
敷地面積	22,636 m ²
建築面積	工場棟 5,264 m ²
	管理棟 884 m ²
	計量棟 150 m ²
	ストックヤード棟 894 m ²
	車庫棟 139 m ²
延床面積	12,114 m ²
ごみ処理施設	
処理能力	55 t / 24 h 炉 × 3 炉
炉形式	全連続燃焼方式(流動床式焼却炉)
焼却温度	850℃以上
運転時間	1 日 24 時間運転
運転方式	1 炉 1 系列式で構成し、3 炉体制とする
主要設備	
受入供給設備	ピットアンドクレーン方式
燃焼設備	流動床方式
燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラー式
排ガス処理設備	ろ過式集じん機+乾式法、触媒反応方式
給水設備	上水道使用
排水処理設備	生活用水～下水道放流 プラント用水～中和、凝集沈殿、ろ過後再利用

余熱利用設備	蒸気タービン発電ほか
通風設備	平衡通風方式
飛灰処理施設	プラズマ加熱溶融固化方式（平成25年4月より停止）
余熱利用	発電、施設内給湯、施設内冷暖房、ロードヒーティングを行う
公害防止基準	
排ガス基準値	
ばいじん量	0.15g/Nm ³ 以下
ダイオキシン類	5ng-TEQ/Nm ³ 以下
硫黄酸化物	K値=17.5以下
塩化水素	700mg/Nm ³ （約430ppm）以下
窒素酸化物	250ppm以下
一酸化炭素	煙突出口において100ppm以下
リサイクルプラザ	
不燃・粗大ごみ処理施設	
処理能力	65t/5h
年間稼働日数	250日
運転時間	1日5時間
主要設備	
受入供給設備	ピットアンドクレーン及び直接投入方式
破砕設備	1次破砕機：低速回転式（二軸せん断式） 2次破砕機：横型高速回転式（スイングハンマー式）
搬送設備	コンベヤ方式
選別設備	粘度、磁気、うず電流、風力選別方式の組合せ
再生設備	油圧圧縮式
集じん設備	サイクロン+バグフィルター方式
資源化設備	
処理能力	30t/5h
年間稼働日数	250日
運転時間	1日5時間
主要設備	
受入供給設備	直接投入方式
破砕設備	磁気、うず電流、風力、慣性、粘度選別方法の組合せ
再生設備	油圧圧縮式、加熱減容ブロック成型式
集じん設備	サイクロン+バグフィルター方式
公害防止基準	
粉じん基準値	0.1g/Nm ³ 以下（集じん装置排気筒出口において）

中間処理施設（プラスチック処理センター）

所在地	北見市昭和186番地1、186番地7
建設事業年度	平成19年度
建設費	252,000千円
施工業者	極東開発・北成建設・大幸建設・三共後藤特定建設工事共同企業体
敷地面積	4,463 m ²
建物面積	1,065.52 m ²
処理能力	プラ製容器包装 14 t / 7h
年間稼働日数	260日
運転時間	1日7時間
主要設備	
受け入れ供給設備	直接投入方式、破砕袋機（回転1軸垂直落下式）
破砕・圧縮設備	プラ減容装置、磁力選別機（マグプーリ）、粗選別機（ロールスクリーン）、手選別コンベヤ
廃棄物保管設備	プラスチック類（面積60 m ² ）

最終処分場

所在地	北見市大和298番地1他
建設事業年度	平成10年度～平成12年度
建設費	1,239,000千円
施工業者	五十嵐・小川・武田・船橋特定建設工事共同企業体
敷地面積	246,000 m ²
埋立面積	33,500 m ²
埋立容積	275,300 m ³
埋立期間	平成13年度～令和17年度
埋立対象物	焼却残渣、不燃ごみ
埋立方式	準好気性埋立方式（サンドイッチ方式）
主要設備	
流出防止設備	重力式コンクリート堤
しゃ水設備	高密度ポリエチレンシート（2重構造）、漏水検知システム
浸出液処理設備	下水道圧送
その他設備	雨水等集排水設備、保有水等集排水設備、飛散防止設備、防火設備、ガス抜き設備ほか

(9) 常呂町一般廃棄物処理センター

ア センターの概要

処理センターには、破砕処理施設、汚水処理施設、中間処理施設、最終処分場（埋立地）の4施設があります。

破砕処理施設、汚水処理施設は、増加するごみへの対応と、埋立地の効率的な利用を図るため昭和56年度（昭和57年3月完成）に建設されました。

また、平成2年には最終処分場の追加整備をし、平成11年には資源ごみを選別・保管する施設（ストックヤード）を建設しました。

イ 施設の概要

中間処理施設 (常呂町ストックヤード)

所在地	網走市字能取 216 番地	
建設事業年度	平成 11 年度	
建設費	63,000 千円	
施工業者	株式会社 野口建設	
延床面積	300 m ²	
構造	鉄骨造平家建	
設備等	発泡スチロール溶融機	65~100kg/h
	小型空缶選別減容機	500kg/h
	廃プラスチック圧縮減容機	120kg/h

汚水処理施設

所在地	網走市字能取 216 番地	
建設事業年度	昭和 56 年度	
建設費	170,000 千円	
施工業者	三菱化工機 株式会社	
処理能力	平均 30 m ³ /日 最大 80 m ³ /日	
処理方式	回転円板方式+凝集沈殿方式	
設備等	スクリーン、沈砂池、原水層、沈殿槽、調整槽、脱窒回転円板 1・2、硝化回転円板、酸化回転円板、凝集沈殿、滅菌槽	

破碎処理施設

所在地	網走市字能取 216 番地	
建設事業年度	昭和 56 年度	
建設費	491,000 千円	
施工業者	極東開発工業 株式会社	
処理能力	10 t/5h	
破碎方式	縦型高速回転式	
設備等	受け入れホッパ 1 基、供給コンベア 1 基、破碎機 1 基、搬出コンベア 1 基、マグネットセパレータ 1 基、貯留ホッパ 2 基、集塵装置 1 基、トラックスケール 1 基	

最終処分場 (埋立地)

所在地	網走市字能取 216 番地	
建設事業年度	平成 2 年度	
建設費	32,115 千円	
施工業者	株式会社 丸田組	
埋立面積	9,930 m ²	
埋立容積	58,857 m ³	
埋立期間	平成 3 年度~令和 3 年度	
埋立対象物	不燃ごみ、粗大ごみ	

(10) 留辺蘂町廃棄物処理場

ア 処理場の概要

留辺蘂自治区では、平成9年6月から容器包装リサイクル法の施行に伴い、従前、全量埋立処分していた一般ごみの減量化及び資源ごみのリサイクルを目指し、昭栄地区にリサイクルセンターを設立して、資源物処理を開始しました。その後、平成14年3月に北興化学工業株式会社跡地の一部と建物を借上げ、旭中央へ移転し、現在7種類の資源物の中間処理と5種類の資源物及び2種類の有害ごみの一時保管を行っています。

また、平成11年4月より置戸町、8月より訓子府町の資源物の受け入れを行っています。

旧留辺蘂町・訓子府町・置戸町の3町により、PFI事業によるBOT方式で建設した最終処分場は、平成16年4月1日に供用開始され、平成30年度をもって埋立完了を計画していましたが、埋立量が4割程度にとどまる見込みであることから、運営期間を15年延長しました。

平成16年度より、「燃やすごみ」はクリーンライフセンターで、「燃やさないごみ」は訓子府町・置戸町との共同一般廃棄物処理場で、「生ごみ」は花園堆肥センターでそれぞれ処理することになりました。豊金最終処分場は、平成16年3月31日をもって、埋立処理を終了し、完全閉鎖をしたところですが、閉鎖以降は定期的に周辺環境調査を継続し、処分場周辺の水環境を監視しています。

花園堆肥センターでは、生ごみを堆肥化するため、すでに下水道汚泥の堆肥化が行われていた現有施設の一部を改修して、平成16年度から処理を行っています。

出来上がった堆肥については、戻し堆肥として活用しているほか、市民に無償で還元もしています。

イ 施設の概要

中間処理施設（留辺蘂町リサイクルセンター）

所在地	北見市留辺蘂町旭中央32番地1	
建設事業年度	平成14年度	
建設構造	鉄骨造・亜鉛メッキ鋼板葺平家建	
敷地面積	20,678 m ² （敷地全体面積41,356 m ² のうち北側部分）	
建物面積	2,363.66 m ²	
設備等	発泡スチロール破碎減容機	20kg/h
	自動PETボトル減容機	100kg/h
	空缶プレス機（磁気選別）	アルミ缶70kg/h、スチール缶250kg/h

最終処分場（北見市・訓子府町・置戸町一般廃棄物最終処分場）

所在地	北見市留辺蘂町富岡177番地1
建設事業年度	平成14年度～平成15年度
供用開始	平成16年4月
構成町村	北見市、訓子府町、置戸町
建設費	1,450,000千円
事業主体	株式会社 ルペッシュペ・ピーエフアイ
敷地面積	106,600 m ²
埋立面積	18,100 m ²
埋立容積	87,900 m ³
埋立期間	平成16年度～令和15年度（30年間）
埋立対象物	不燃ごみ、粗大ごみ
埋立方式	セル工法

主要設備	
流水防止設備	重力式コンクリート堤
しゃ水設備	高密度ポリエチレンシート（2重構造）、漏水検知システム
浸出液処理設備	生物処理・凝集沈殿・砂ろ過方式（活性炭）、処理能力 35 t/日
その他設備	雨水等集排水設備、保有水等集排水設備、飛散防止設備、防火設備、ガス抜き設備ほか

生ごみ・下水道汚泥処理施設（花園堆肥センター）

所在地	北見市留辺蘂町花園 387 番地 2
建設事業年度	平成 10 年度
建設費	187,000 千円
敷地面積	8,762 m ²
建築面積	2,554 m ²
構造	鉄骨造平家建
供用開始	平成 16 年 4 月
堆肥化対象物	生ごみ、下水汚泥
処理能力	下水汚泥 500 t/年、生ごみ 4 t/日
処理方式	牛堆肥+下水汚泥+バーク+戻し堆肥+発酵エース・システム処理 生ごみ+バーク+戻し堆肥+発酵エース・システム処理

(11) 北見市廃棄物処理場（昭和埋立処分場）

ア 処理場の概要

昭和 43 年より廃棄物の埋立処理を行ってきた市内昭和の埋立処分場は平成 13 年新施設稼動に伴い、現在は災害ごみの受け入れをしています。

また、昭和埋立処分場からの浸出水による河川及び地下水汚染等を未然に防止すべく、昭和 51 年に汚水処理施設を設置し、平成 23 年度に老朽化した施設の改修を行いました。

イ 施設の概要

昭和埋立処分場

埋立面積	498,350 m ²
埋立容量	3,943,000 m ³
埋立構造	改良型嫌氣的衛生理立構造

汚水処理施設

設置場所	北見市昭和 186 番地 1	
処理方式	凝集沈殿方式	
処理能力	平均 400 m ³ /日	最大 800 m ³ /日
設備	汚水処理設備	流量測定装置、薬品混和槽、凝集層、凝集沈殿槽、汚泥濃縮槽、汚泥貯留槽、消毒槽
	下水放流設備	流量測定装置、スケール分散剤注入装置
	建屋	鉄骨造 186 m ² 1 棟

(12) し尿処理

(令和2年度処理実績および令和3年度の処理形態)

	北見市 計	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
収 集 世 帯 (世 帯)	2,023	825	214	356	628
人 口 (人)	3,589	1,508	392	596	1,093
収 集 形 態		委託	許可	委託	許可
申 込 及 び 収 集		計画収集及び申込により随時			
処 理		北見地区スクラムミックスセンター投入・ 北見市浄化センターで処理			
収 集 車 両 (台)	7	2	2	1	2
し尿年間収集件数(件)	4,523	1,952	521	836	1,214
し尿年間処理量 (キリット)	3,698.6	1,605.9	515.1	527.6	1,050.0
1人1日当たり処理量 (リットル)	2.8	2.9	3.6	2.4	2.6
浄化槽汚泥処理量(キリット)	2,566.6	1,082.5	495.5	988.6	し尿に含む

※収集世帯及び人口は、令和2年9月末日現在での行政区域世帯・人口から水洗化世帯・人口（下水道接続、集落排水、合併処理浄化槽）と単独処理浄化槽世帯・人口を除いた数値。

※常呂自治区の一部の浄化槽汚泥は、常呂終末処理場で処理している。

※留辺蘂自治区の浄化槽汚泥は一時貯留槽を使用しているため、し尿処理量に含まれている（浄化槽汚泥処理量は不明）。

し尿処理関係手数料【北見市廃棄物の減量促進、処理及び清掃に関する条例第20条 別表第1抜粋】

し尿等処理手数料	し尿又は流し汁（仮設トイレ（工事現場等に一時的に設置される便所をいう。以下同じ。）に係るもの及び清掃を伴うものを除く。）を収集し、運搬し、及び処分するとき。	50リットルまでごとに 310円
	仮設トイレ（清掃を伴うものを除く。）に係るし尿を収集し、運搬し、及び処分するとき。	50リットルまでごとに 1,600円

(令和3年7月1日条例改正)

(13) 霊園・墓地

(令和2年度末現在)

ア 霊園

名 称	北見市北見ヶ丘霊園	北見市緑ヶ丘霊園
面 積	48.4ha (土地利用計画 墓域 7.8ha、 園路・駐車場等 4.2ha、緑地等 36.4ha)	18.5ha
施 行 年 度	昭和54年～平成16年 (第1期)～(第11期) 平成24年・平成25年 (合同納骨塚)・(A墓域 規格墓地)	昭和32年～昭和38年(第1霊園)、 昭和46年～昭和50年(第2霊園)
区 画 数	3,363区画	4,039区画
施 設	合同納骨塚、合同納骨塚墓誌、管理事 務所1棟、展望台、休憩所	納骨堂、管理事務所1棟、給水施設、 展望台、休憩所
事 業 費	872,215千円	83,898千円
都市計画決定	昭和54年6月29日	
事 業 認 可	昭和54年8月31日	

イ 霊園・墓地使用料・維持料

名 称	使 用 料	維 持 料
北見市緑ヶ丘霊園	自由区画 1㎡につき 32,700円	自由区画 1㎡につき 年額430円
北見市北見ヶ丘霊園	規格区画 1区画につき 130,800円	規格区画 1区画につき 年額1,720円
	自由区画 1㎡につき 32,700円	自由区画 1㎡につき 年額430円
北見市緑ヶ丘霊園 納 骨 堂	A級 1壇につき 30,000円 B級 1壇につき 20,000円 C級 1壇につき 10,000円 D級 1壇につき 60,000円 E級 1壇につき 40,000円 F級 1壇につき 20,000円	1壇につき 年額480円
北見市北見ヶ丘霊園 合同納骨塚及び墓誌	焼骨 1体につき 5,000円 掲示 1件につき 5,000円	

名 称	使 用 料		
北見市立北光第二墓地	普通区画	1㎡につき	7,000円
北見市立相内第二墓地	普通区画	1㎡につき	5,000円
北見市立二区共同墓地	1等級	3.3㎡につき	400円
	2等級		350円
	3等級		300円
北見市立常呂町墓園	A区画	7.00㎡	80,000円
	B区画	10.50㎡	120,000円
	C区画	14.00㎡	150,000円
北見市立留辺藪墓地	旧区画	1等地	36,000円
		2等地	18,000円
		3等地	7,200円
		4等地	6,000円
	新区画	甲	150,000円
		乙	100,000円
		丙	80,000円
	平成区画	甲	150,000円
		乙	110,000円

名 称	使 用 料		
北見市立温根湯温泉墓地	1等地	甲	24,000円
		乙	18,000円
	2等地	甲	18,000円
		乙	9,600円
	3等地	甲	9,600円
		乙	8,400円
		丙	7,200円
		丁	6,000円

ウ 墓 地

名 称	所 在 地	用地面積
北見市立上仁頃墓地	北見市上仁頃 669番	10,920㎡
北見市立上常呂墓地	北見市広郷 545番	16,527㎡
北見市立美里墓地	北見市美里 360番	7,517㎡
北見市立北光墓地	北見市北光 535番	18,850㎡
北見市立北光第二墓地	北見市北光 535番	1,786㎡
北見市立仁頃墓地	北見市仁頃町 295番	24,957㎡
北見市立相内墓地	北見市東相内町 396番	20,815㎡
北見市立相内第二墓地	北見市東相内町 400番 8	6,695㎡
北見市立住吉墓地	北見市住吉 国有地	2,028㎡
北見市立西相内墓地	北見市西相内 176番 2	2,945㎡
北見市立富里墓地	北見市富里 368番	9,917㎡
北見市立二区共同墓地	北見市端野町二区 831番地 6	39,759㎡
北見市立緋牛内・一区共同墓地	北見市端野町緋牛内 156番地 3	19,914㎡
北見市立川向共同墓地	北見市端野町川向 305番地 5	9,936㎡
北見市立川向・協和共同墓地	北見市端野町協和 311番地 4	9,907㎡
北見市立忠志共同墓地	北見市端野町忠志 269番地 5	7,515㎡
北見市立北登共同墓地	北見市端野町北登 630番地	3,407㎡
北見市立常呂町墓園	北見市常呂町字常呂 695番地	35,487㎡

北見市立日吉墓地	北見市常呂町字日吉 378 番地	3,469 m ²
北見市立豊川墓地	北見市常呂町字豊川 223 番地	7,171 m ²
北見市立留辺薬墓地	北見市留辺薬町宮下町 126 番地	30,202 m ²
北見市立温根湯温泉墓地	北見市留辺薬町松山 130 番地	24,506 m ²
北見市立花園墓地	北見市留辺薬町花園 344 番地	3,931 m ²
北見市立瑞穂墓地	北見市留辺薬町瑞穂 384 番地	3,967 m ²
北見市立金華墓地	北見市留辺薬町金華 18 番地	4,080 m ²
北見市立滝の湯墓地	北見市留辺薬町滝の湯 49 番地	6,539 m ²
北見市立厚和墓地	北見市留辺薬町厚和 153 番地	3,922 m ²
北見市立伊頓武華墓地	北見市留辺薬町富士見国有林内	2,723 m ²

(14) 畜犬登録及び狂犬病予防注射

(令和2年度)

令和2年度分登録数	令和2年度末までの登録総数	狂犬病予防注射済数
437 頭	4,823 頭	3,198 頭

2 環境保全

近年北見市では、事業所から発生するばい煙やごみの焼却等による大気汚染、農畜産系排水や生活排水による河川の汚濁、自動車や建設工事、近隣住宅等から発生する騒音や振動等、都市特有の公害が発生しており、発生源の調査及び監視、指導を行い環境の保全に向けた取り組みを進めている。

また、環境基本計画に基づき環境教育の推進、各種啓発事業を実施しながら環境保全意識の高揚に努めている。

(1) 公害関係法令に基づく届出状況

(令和2年度)

関係法令	届出事業所数	関係法令	届出事業所数
大気汚染防止法	184 (内訳) ばい煙 153 粉じん 28 水銀 3	ダイオキシン類対策特別措置法	5
水質汚濁防止法	105	北海道公害防止条例	103
騒音規制法	153	北見市公害防止条例	247
振動規制法	106		

(2) 特定建設作業届出状況

(令和2年度)

種類	騒音	振動
届出件数	10	8

(3) 公害関係の苦情処理状況

(令和2年度)

種類	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	その他	合計
処理件数	11	9 (6)	20 (19)	12	0	0	12	0	64 (25)

※ () 内の数値について、油類流出事故に関する事故発生件数を記載。

(4) 広域的な環境保全対策の推進

常呂川流域の自治体(北見市、置戸町、訓子府町)では、常呂川水系の豊かな自然環境の保全と生活排水や農畜産排水による水質汚濁を防止し、潤いと安らぎのある快適な生活環境の創造を図るため「常呂川水系環境保全対策協議会」を設置し、広域的な水質、水銀等の調査を実施しているほか、流域の住民、子供たちを対象に各種啓発事業を実施している。また、常呂川流域の自治体が共通の認識を持ち連携を深め、河川環境の保全および河川の適正な利用に取り組むため、平成21年10月に「常呂川水系環境保全条例」(1市2町統一条例)を制定した。

さらに、平成31年1月には同協議会内に「水質保全対策専門部会」を設置し、常呂川水系における流域自治体間の更なる連携強化や水質保全に向けた施策の情報共有を行い、常呂川流域における河川環境保全に向けた取り組みを進めている。

3 北見市廃棄物処理総合対策事業

大量生産・大量消費・大量廃棄による社会経済活動に伴い、日常生活や事業活動に伴って排出される廃棄物は年々増加しています。このような中、国では各種リサイクル法の整備を進めています。北見市では、廃棄物を単に処理するだけでなく、市民・事業者・行政の三者が協力をして廃棄物の発生抑制、減量化・リサイクルの枠組みを確立し「資源循環型まちづくり」の構築を目指し、家庭系廃棄物の有料化をはじめ各種施策を展開しています。

(1) 廃棄物減量等推進員制度

多種・多様化、増大する一般廃棄物の減量化とリサイクルの推進を目的に北見市と市民のパイプ役として、北見市の実施する施策への協力、その他の活動を行っている「北見市廃棄物減量等推進員」を全自治区に拡大し委嘱を行いました。

○廃棄物減量等推進員制度の概要(令和3年3月)

選出母体	連合町内会及び単位町内会(自治会)				
委嘱人員	北見市	北見自治区	端野自治区	常呂自治区	留辺蘂自治区
	440名	375名	8名	19名	38名
任期	2年				
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の減量化とリサイクルの推進に関する啓蒙、啓発と市民との連絡調整 ・集団資源回収 ・分別収集の推進 ・情報交換会等への参加 				

(2) リサイクルイベント

6月の環境月間に開催している「環境フェア くるるん・きたみ」は、下記のとおり開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

○令和2年度の概要

開催予定日時	令和2年6月下旬(中止)
会場	北見市芸術文化ホール前駅南多目的広場・オホーツク木のプラザ
主催	リサイクル実行委員会(10団体、事務局廃棄物対策課)
開催予定イベント内容	絵画コンクール表彰式、フリーマーケット、縁日、ミニソーラーカー工作教室、ミニソーラーカーレース、クリーンウォーク、地球温暖化問題に関する子ども教室、分別クイズ、的当てゲーム、生ごみ堆肥無料配布、リサイクルバンク、アルミ缶リサイクル、新鮮野菜の販売、自転車の無料点検、ソーラー発電システム展示、古着・古布の回収など

(3) 生ごみ処理機の購入助成

家庭から排出される生ごみの減量化・資源化を図るため、全自治区を対象に購入助成を行いました。

○令和2年度の助成概要

区 分		生ごみ処理機（電動等）	生ごみ堆肥化容器（コンポスト）
助成対象容器		微生物分解型・温風乾燥型・破砕処理型ディスポーザ処理機	筒型・角型の筒状で底部が無く、上部に蓋のあるもの。悪臭・害虫などが容器外部に発散することのない構造及び材質のもの。
助 成 金 額		購入価格の1/2以内で 上限20,000円/個	購入価格の1/2以内で 上限2,000円/個
助 成 台 数	北見自治区	13台	43台
	端野自治区	0台	5台
	常呂自治区	1台	3台
	留辺蘂自治区	4台	8台
北 見 市 計		18台	59台

(4) 普及啓発事業

ごみの減量化・リサイクルを推進していくためには、市民や事業者に対する意識啓発や情報提供を行っていく必要があります。そのため北見市では、廃棄物減量等推進員の委嘱やリサイクルイベントの開催、各種チラシやホームページなどによる情報提供をはじめ、「出前講座」、「夏休み特別教室」、「落ち葉の腐葉土づくり講習会」などを実施しているほか、市民自らが減量化に取り組むため生ごみ処理機の助成、資源ごみの集団回収などの促進を図り廃棄物の適正処理のための施策を実施しています。

(5) 北見市リサイクルバンク事業

年1回環境フェア「くるるん・きたみ」のイベントで、自転車・家具を展示し抽選で提供していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止したため、提供できませんでした。

(6) リユースに関する実証事業

市で収集した粗大ごみの中から使用可能なモノを選別の上、リユース品として地域情報サイト「ジモティー」に出品し、希望する市民へ引渡すことで、埋め立てするごみの減量化に取り組む実証事業を実施しました。

実施期間	令和2年7月から令和3年2月末まで
引 渡 数	104点
減量効果	1,219.7 kg
引渡商品	カラーボックス、テーブル、ダンス、チェスト、ポールハンガー、木製ラック、メタルラック、テレビ台、机、本棚、椅子、鏡台、土留め、健康器具、屋外ストッカー、小物入れ、ハンガー、シェルフ、自転車